

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本真空協会 (VSJ) / 財団法人 日本規格協会 (JSA) から工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

真空配管継手の取付け寸法

Vacuum technology—Pipeline fittings—
Mounting dimensions

序文 この規格は、1993 年に制定発行された ISO 9803, Vacuum technology-Pipeline fittings-Mounting dimensions を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。なお、この規格で点線の下線を施してある“箇所”は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、標準数 R5 (JIS Z 8601 参照) シリーズの呼び径 10mm から 250mm までの真空配管継手（エルボ、ティー及びクロス）に対する取付け寸法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 2290 真空装置用フランジ

備考 ISO 1609 : 1986 Vacuum technology—Flange dimensions が、この規格と一致している。

JIS B 8365 真空装置用クランプ形継手の形状及び寸法

備考 ISO 2861-1 : 1974 Vacuum technology—Quick-release couplings—Dimensions—Part 1 : Clamped type が、この規格と一致している。

JIS Z 8601 標準数

3. 寸法

3.1 真空配管継手の取付け寸法は、表 1 による。表 1 の e 寸法及び H 寸法は、図 1、図 2 及び図 3 による。

3.2 フランジの形状及び寸法は、JIS B 8365 及び JIS B 2290 による。

3.3 JIS B 2290 で規定されたフランジのボルト穴位置は、図 4 に示す。

角度 α は、ボルト穴数による。

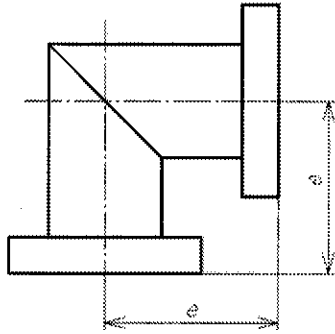


図1 エルボ

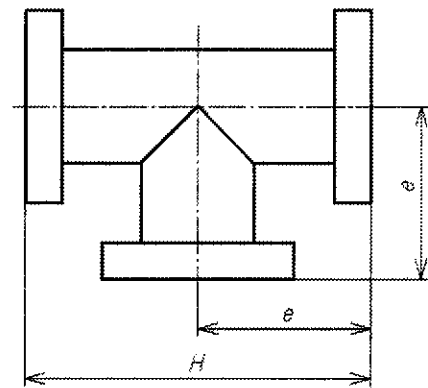


図2 ティー

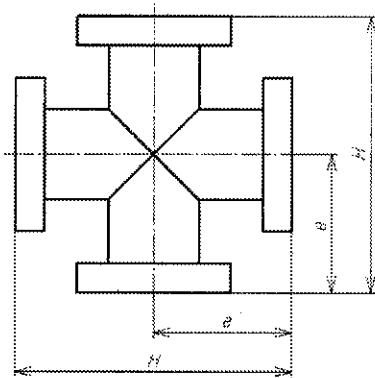


図3 クロス

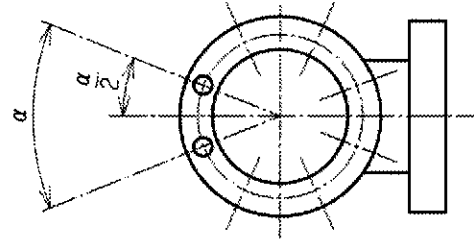


図4 ボルト穴位置

表1 真空配管継手の寸法

単位 mm

呼び径	e		H		フランジの面間の平行度 及び直角度の許容差	
	基準寸法	寸法許容差	基準寸法	寸法許容差	JIS B 8365	JIS B 2290
10	30	± 1.5	60	± 1.5	$\pm 2^\circ$	$\pm 1^\circ$
	40*		80*			
16	40		80			
25	50		100			
40	65	± 2	130	± 2	—**	$\pm 0^\circ 30'$
63	88		176			
100	108		216			
160	138		276			
250	208	± 2	416	± 3		

注* これらの値は、JIS B 2290 で規定されたフランジにだけ適用する。

** JIS B 8365 には呼び径 63 以上のフランジがない。

JIS B 2293 (真空配管継手の取付け寸法) 原案作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	村上 義夫	日本真空技術株式会社
	石川 雄一	株式会社日立製作所
	岡野 達雄	東京大学生産技術研究所
	荻野 幸雄	日本真空協会
	小野寺 博也	芝浦メカトロニクス株式会社
	尾松 啓	神港精機株式会社
	川原 文雄	アネルバ株式会社
	木村 和幸	大亜真空株式会社
	金原 浩之	日本真空技術株式会社
	柳原 正二	日本酸素株式会社
	二村 馨	日本真空工業会
	橋本 進	財団法人日本規格協会
	八田 勲	工業技術院標準部
	平田 正紘	工業技術院電子技術総合研究所
	堀越 源一	高エネルギー物理学研究所名誉教授
	森田 晋作	日本バックスメタル株式会社
(事務局)	小林 廣子	日本真空協会

JIS と対応する国際規格との対比表

JIS B 2293 : 2000 真空配管継手の取付け寸法			ISO 9803 : 1993 Vacuum technology—Pipeline fitting—Mounting dimensions		
対比項目 規定項目	(I) JIS の規定内容	(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定内容	(IV) JIS と国際規格との相違点	(V) JIS と国際規格との整合が困難な理由及び今後の対策
(1) 適用範囲	○ 真空配管継手の取付け寸法について規定した。	ISO 9803	○ 真空配管継手の取付け寸法について規定した。	≡ 全面的に採用	
(2) 引用規格	○ JIS B 8365, JIS B 2290, JIS Z 8601 を引用	ISO 2861-1, ISO 1609 を引用	○	≡ 全面的に採用	
(3) 寸法	○ 真空配管継手の取付け寸法について規定した。 また、JIS B 2290 フランジのボルト穴位置を規定した。	ISO 9803	○	≡ 全面的に採用	

備考1. 対比項目(I)及び(III)で、“○”は該当する項目を規定している場合を示す。

2. 対比項目(IV)の小欄の記号の意味は、次による。

“≡”：JIS と国際規格との技術的内容は同等である。